

## 令和3年度(2021年度)第2回北区地域包括ケアシステム推進会議 書面開催意見集約

### 《北区地域包括ケアシステム推進方針（2021年見直し）の取り組みについての意見》

#### 1 方針1 高齢者が安心して過せる「仕組みづくり」の取り組みについて

##### 委員の方々からの意見・提案

●8050問題が取り上げられ、当障がい者支援センターも少しずつ問い合わせを頂くようになってきました。まだ認知度が低く、高齢者の方が子どもやお孫さんについて相談でき、安心して頂けるようサポートしていきたいと考えています。今後の取り組みの中に、周知・広報があったので、当センターも加えて頂き、広く知って頂けるよう力をお借りできると幸いです。（熊本市障がい者相談支援事業所）

●認知症の方にサービスを提供している事業所が、地域のネットワークとどう繋がるか明確化してほしい（熊本県看護協会）。

●要援護者の登録・個別計画作成と共に、どこに避難するかを本人・家族・サービス事業所・近隣の協力者等と実践訓練が出来るレベルになる事を期待しています。（熊本県看護協会）

●私たちの町内では、平成26年に「熊本防災クラブ」に入会して、早速、町内の「独居老人」とご近所の「その方を見守る人」を結びつける組織「心のデュエット」を結成。防災訓練を行って効果を試していたところ、熊本地震では早速効果が出ました。この組織を校区全体に広げたいと思うが、どう伝えればよいのか苦慮しています。（いきいき未来のつどい実行委員）

●独居高齢者の増加や認知症の人と家族の支援等、身近な問題となってきたり、少子化の影響も今後大きく関わってくると思います。プライバシー重視があり、どれだけ一般人が関わっていけるか難しいと思います。（いきいき未来のつどい実行委員）

●監視カメラなどモニターの充実と警察との連携が欠かせないと思います。（いきいき未来のつどい実行委員）

●避難支援体制の整備について、ハザードマップには火災時のものがないので、先ず火事関係のハザードマップを作り、それに基づく消火活動や狭い道路の問題も同時に解決しないとダメだと思います。（いきいき未来のつどい実行委員）

## 2 方針2 高齢者が一緒に楽しく過ごせる「場づくり」の取り組みについて

### 委員の方々からの意見・提案

- 交流の場の活性化のために、スマホの勉強会をサロンでやってはいかがでしょうか？（いきいき未来のつどい実行委員会）
- 憩いの家に Wi-Fi を設置すると、足が悪い高齢者も自宅でリモート対面が出来るようになり、アフターコロナ・ウィズコロナにおいて新しい生活様式が構築出来ると思います。（校区自治協議会）

## 3 方針3 高齢者を地域みんなで支える「人づくり」の取り組みについて

### 委員の方々からの意見・提案

- 熊本市障がい者サポーター研修を行っています。高齢者の方にも出来る人が出来るだけの精神で、ぜひサポーターになって頂きたいと思います。無料で研修を承ります。（熊本市障がい者相談支援事業所）
- 今の小・中学生、高校生は、IT に強くなるよう学校で電子機器を使っているの、サポーターになると思います。（いきいき未来のつどい実行委員会）
- 認知症の人と家族の会に参加しながら、これから色々なことで繋がりが持てたらと思っています。（認知症の人と家族の会）

## 4 方針全般について

### 委員の方々からの意見

- 高齢者が暮らしやすいまちづくりが、障がい者も暮らしやすいまちになると思います。取り組みについて出来るところがありましたら、積極的に協力させていただきます。（熊本市障がい者相談支援センター）
- 認知症高齢者の徘徊事業等に関するタイムリーな情報共有と地域への情報発信・事案認知時の初期対応の連携について、より一層の協力をお願いします。（北合志警察署）

## 5 意見集約期間

令和4年（2022年）3月24日～3月31日